

## 第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人エール・フォーユー
--------------------

### ②評価調査者研修修了番号

SK2021039
SK2021040
S2022019

### ③施設名等

名称：	双葉荘
施設長氏名：	荒井 聡
定員：	50名
所在地(都道府県)：	山形県
所在地(市町村以下)：	新庄市大字萩野字横根山80-1
T E L：	0233-25-2018
U R L：	http://futabaso.or.jp/
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	1952/4/10
経営法人・設置主体(法人名等)：	社会福祉法人 最上梅檀会
職員数 常勤職員：	30名
職員数 非常勤職員：	4名
有資格職員の名称(ア)	社会福祉士
上記有資格職員の数：	1名
有資格職員の名称(イ)	児童指導員
上記有資格職員の数：	11名
有資格職員の名称(ウ)	保育士
上記有資格職員の数：	10名
有資格職員の名称(エ)	栄養士
上記有資格職員の数：	1名
有資格職員の名称(オ)	調理師
上記有資格職員の数：	5名
有資格職員の名称(カ)	カウンセラー
上記有資格職員の数：	2名
施設設備の概要(ア)居室数：	ユニット4室(11名×4室) ユニット1室(6名×1)
施設設備の概要(イ)設備等：	
施設設備の概要(ウ)：	
施設設備の概要(エ)：	

### ④理念・基本方針

【理念】	児童福祉法と児童憲章を守り、良い環境の中で正しい愛情をもって養護にあたり、子ども一人ひとりの違いを大切にしながら豊かな人間性の涵養と自立のための支援を行います。
【基本方針】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童の権利擁護</li> <li>2. 職員の資質向上</li> <li>3. 施設の高機能化、小規模化</li> <li>4. 施設の社会化</li> </ol>

### ⑤施設の特徴的な取組

1.	地域の要保護児童対策地域協議会に参画し、地域における施設の役割を担う。
2.	市町村と委託契約を締結し短期利用事業による受け入れを行っている。
3.	突発的、緊急の事態に即応した一時保護の受け入れを積極的に行っている。
4.	体育館を災害時における地域住民の一時避難所として使用協定を結んでいる。

### ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間(ア)契約日(開始日)	2023/7/12
評価実施期間(イ)評価結果確定日	2023/10/30
前回の受審時期(評価結果確定年度)	令和2年度(和暦)

## ⑦総評

### ◇評価の高い点◇

#### 1 安全委員会の取組について

入所児童の安全、安心した生活の保障のために活動する「安全委員会」（外部委員・内部委員で構成）は毎月1回会議を開催し、子どもの意見を受け止め、内容を検討し具体的に専門的な意見をもらい改善に繋げています。外部委員となっている学校長や担任の先生からも学校での子どもの様子の情報提供があり密接に連携し不登校の生徒はなく、登下校時の通学バスに職員が交替で付き添うなど地域に根差した取組を行っています。児童の主体性を尊重した「子ども安全委員会」で話し合いが行われ、成長や自立に向けて有効に機能しています。食事の際、同じテーブルの席に座り中学生が小さい子どもの面倒を見て率先して給仕をするなど、小さい子どもたちはお姉さんと思い家庭的な雰囲気となっており、楽しそうに落ち着いて食事をしています。年下の子どもや障がいを持った子どもの面倒を見る姿から思いやりの心が芽生えており、子どものより良い生活に繋がるように施設全体で取り組んでいます。

### ◇改善が求められる点◇

#### 1 職員の育成について

職員は養育・支援の質向上に繋がる研修を受講して、施設全体で共通理解のもと就業していると感じますが、施設として「期待する職員像」を明確にして、一人ひとりの職員の育成に向けた目標管理のための仕組みの構築に期待します。

#### 2 第三者評価への取組について

子どもの心身の発達や安心・安全な生活が出来るよう、定期的に第三者評価は実施し取り組んでいますが、自己評価を全職員が参加して行うことにより日々の福祉サービスを振り返り、気づきを得ることや課題等を確認できると思われれます。長年地域に根差した伝統ある施設として、さらなるサービスの質向上に繋がる取組みに期待します。

## ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

・ 子どもの安全・安心した生活の保障のための活動に対して、高い評価が示されたことは大変うれしく感じました。子どものより良い生活を作り出すための取り組む姿勢は、話ができる環境を作り出すことに着目し、子どもに関することに留まらず、職員の世代間の感覚のズレや行き違いが無いように、話し合いを繰り返し、だれでも言語化できるような組織作りを目指すことで、いろいろな繋がりが拡充していくものと思っています。

・ 評価の高い点の取組と、改善が求められる点の取組をいま一度みんなで確認し合いながら、子どもたちや子どもを支える職員のために、そして施設全体が、子どもの将来や働く職員にも希望の持てる場所だと実感できるものにしていきたいものです。

## ⑨第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>基本理念・運営方針・児童の育成方針はホームページ・パンフレットに記載し、地域や関係機関にも示している。職員には年度始めや入職時に説明と各会議等で周知を図り、子どもには年齢層に応じてわかりやすい言葉で話をして理解を得ている。</p>	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
<p>① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>施設長は、全国・東北・県の養護関係機関の役職にあり、福祉政策や社会・行政の動向を把握している。「山形県社会的養育推進計画」に沿って県の子どものに関するデータ等も把握・分析して養育・支援のニーズに応えている。</p>	
<p>② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>経営課題や財政面等は当該年度に分析して役員会等に報告を行い、法人全体で課題を解決している。職員からは会議等で意見を聞き、組織的に取り組み処遇改善に繋げている。</p>	

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	a
【コメント】	
「社会的養育推進計画」(令和2年度から令和11年度、2~6年度は前期、7~11年度は後期)を策定し県に提出している。事業計画は年度当初に提出して役員会議等で検討し承認、具体的な取り組みや計画の概要は、毎年作成し見直し等も必要に応じて行っている。	
<p>② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/>単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	b
【コメント】	
中・長期の計画に基づき令和5年度の重点事項として明記しており、法人と双葉荘に分けてわかりやすく記載している。「社会的養育推進計画」により関係機関と連携を図りながら策定し取り組んでいるが、さらに地域実情に合った計画策定にも期待したい。	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
<p>① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。</p>	a
【コメント】	
事業計画については、全職員参加の会議、中堅職員の会議、主任・リーダー会議、処遇・行事・運営等の代表者会議を実施し、検討見直し等が行われている。各会議録等は職員に周知され理解を得ている。	
<p>② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。</p>	b
【コメント】	
家庭状況により保護者等に周知は難しい面もあるが、児童相談所と連携してホームページや広報紙に行事に参加し楽しんでいる様子や、ボランティアとの交流などを載せ周知して理解を得ている。	

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
<p>① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>職員は毎日の打ち合わせを綿密に行いユニット毎の課題や、登下校時は職員が交替で付き添いながら日常の会話や子どもたちから1か月の目標を聞き取った内容や、会議等での意見を参考にし、養育・支援の質の向上に繋げている。</p>	
<p>② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>職員は「人権擁護のためのチェックリスト」を活用し、評価を分析・検討し課題等を把握している。施設長は評価結果を聞き取り、課題等をオープンにして運営委員会・代表者会議・ユニット会議・職員会議等で共有して改善に向けて取り組んでいる。</p>	

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>施設長は自らの役割と責任を年度当初に、会議等、様々な機会に話し、そのことが実績として反映させることで理解を得ている。また年2回広報により子どもたちへの対応や職員の取り組みについて発信している。</p>	

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

【コメント】

施設長は関係機関との公正な関係を保ち、法令遵守に努めている。また倫理綱領や守秘義務もマニュアル化している。法令等の改正については、国・東北・県に関わる役職に就きより早く情報を得て職員会議等を通じて職員に周知している。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	

【コメント】

養育・支援の質の向上に関しては、職員会議の際に具体的な課題を明示し検討して、会議録を作成している。また施設長は職員と関わりを大事にし説明や相談に応じ信頼関係を得ている。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

施設長は法人とともに施設経営を安定させ社会の変化に合わせた経営を行っている。福祉事業の人手不足は当施設でもあるが、賃金アップや夜間の勤務時間の見直し等適正な人員配置や環境づくりに取り組んでいる。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	<p>14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p>	b
【コメント】		
慢性的に人員確保が困難な社会情勢もあり、計画的な採用は困難な状況である。求人イベント・学校に出向き施設の説明やまたラジオ出演し、施設の概要を話し理解を得るようにしている。採用した人員は研修計画に基づき、専門性や期待される役割を發揮できるよう育成している。		
②	<p>15 総合的な人事管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p>	b
【コメント】		
子どもの成長や安定した生活が出来るよう研修し、資質向上に向け取り組んでいるが職員一人ひとりの目標を明確にし施設長が管理・評価されるよう期待したい。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	<p>16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。</p>	b
【コメント】		
複雑な家庭環境に置かれていた子どもたちの養育・支援にあたる職員に向けて、年1回ストレスチェックを実施しカウンセラーとの連携も図られ、一人で悩まないよう複数の職員で対応しており、また休暇等取得も出来るよう協働している。		

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

職員一人ひとりの目標について聞き取りをし、子どもたちの成長や安定した生活が出来るよう取り組み体制は出来ているが、さらに「期待する職員像」を明確にされることを期待したい。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

事業計画の中に年間研修計画を明記して実施し、研修後は報告書で共有している。また年2回施設内研修会を常勤・非常勤職員で行い、より良い施設を目指している。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【コメント】

各種研修に参加し質向上に励んでおり、研修結果も職員に周知し共有している。外部からの研修案内等も職員に開示し、希望による研修参加も奨励している。月1回全職員が出勤日に職員会議の中で研修を取り入れている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【コメント】

保育士・社会福祉士の実習生を受け入れるため、マニュアルを作成している。保育士資格取得を目指す実習生には、中心となる保育士がプログラムを作り、各職員が指導している。社会福祉士を目指す実習生には施設長が総括を担当し、養成校からの事前計画に合わせて実習プログラムの調整等を行うなど養成校と連携し指導している。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者  
評価結果

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	

【コメント】

法人・施設の理念、基本方針、養育・支援の内容、事業計画、予算、事業報告、決算は、法人のホームページなどで公開している。年2回発行の広報紙により情報を公開、発信している。施設の事業について地域や関係機関の依頼を受けて講演したり、パネル展示など施設外での発信にも前向きに取り組んでいる。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	

【コメント】

法人の規程類は各ユニットに備え随時閲覧できるようにし、規程にそって業務を行う仕組みを整えている。職務分掌は年度初めに職員一人ひとりに配布し明確にしている。内部監査は毎年5月に定期的実施し確認している。

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	<p>23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p> <p>(児童養護施設)</p> <p><input type="checkbox"/>学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。</p>	a
【コメント】		
<p>地域と協定を取り交わし災害時の避難所となっている。体育館、集会室を一般に開放し、夏の納涼祭には、子ども会・地区住民に案内を回覧し参加してもらっている。学校の友人が遊びに来るとグラウンド、体育館で常に遊べるようにし、登校指導などで職員が地域の子どもと関わり、地域や学校との交流を日常的に行っている。</p>		
②	<p>24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p> <p><input type="checkbox"/>ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。</p> <p><input type="checkbox"/>ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。</p>	b
【コメント】		
<p>子どもたちと遊ぶ活動、本の読み聞かせ等、定期的に様々なものを受け入れている。ボランティアには子どもへの配慮、接触の度合い等について説明し理解を得ている。受け入れの基本姿勢を明文化したものはないが、職員が必ず付き添ってボランティアを支援するようにしている。</p>		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	<p>25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。</p>	a
【コメント】		
<p>要保護児童対策地域協議会の一員として、関係機関と連携している。専門機関としてアドバイスを求められることもあり、協力し合って地域の課題に取り組んでいる。児童相談所・有識者・教育関係者・地域の代表者・施設長・職員による安全委員会を月1回開催し、施設の運営に生かしている。</p>		

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	

【コメント】

要保護児童対策地域協議会に定期的に職員が出席し、年1回の代表者会に施設長が出席している。施設の専門機関として、地域住民から相談の電話が寄せられることがあり、ひとり親や子育て世代に向けての対応を検討している。今後、地域交流行事や学校との日常的な連携、関連機関との諸会議等により、地域の福祉ニーズを積極的に把握していくことが期待される。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【コメント】

暖房設備のある体育館や備蓄品があり、災害時には防災避難所の指定施設となる協定を結んでいる。地域は少子化が進み、まちの活性化という課題があると捉えており、施設の専門性を生かし、今後は最上地区の子育て相談の機能を持つなど地域住民のための公益的な事業・活動が望まれる。

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。

第三者  
評価結果

①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	

【コメント】

子どもを尊重する標語等を明示し、子どもに対する姿勢を共通理解のもと児童の育成方針を認識し取り組んでいる。子どもの尊重や基本的人権への配慮について、職員は専門職から権利擁護の研修を受け、理解し実践している。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	

【コメント】

個人情報保護方針を制定してホームページにも記載し、個室や他のユニット（男女別ユニット）には入らないなど異性に対して具体的に周知しており、プライバシー保護に配慮した養育・支援を行っている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	

【コメント】

児童相談所が資料を基に相談や説明を行い、入所する前に児童相談所と一緒に見学に来所し、施設の状況や子どもの権利ノートを利用し説明を行っている。入所は子どもの自己決定を大事にしており、児童相談所と連携を取り協力して対応している。

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【コメント】

児童相談所と連携・調整を行い、アセスメントを基に情報収集を行い、施設の安心・安全を説明している。支援の開始に子どもには心理士が面接して不安を取り除いている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【コメント】

進学・就職への移行の際は、家庭環境等も考慮してプログラムを事前に作成し備え、山形県児童養護施設協議会で作成した自立ハンドブックを活用して説明している。退所後の窓口として家庭支援専門相談員を配置し、担当者とともに対応し、訪問や連絡・自立支援等で様子を伺い支援を継続している。

		第三者 評価結果
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
①	<p>33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。</p>	a
【コメント】		
毎月のアンケートや個別の相談面接や聞き取りも行い、満足度を調査をしている。さらに「子ども安全委員会」で検討し、幼児に対しては職員を手厚く配置し職員も寄り添い子どもの満足度の向上に繋げている。		
(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	<p>34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p> <p><input type="checkbox"/>養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/>苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。</p> <p><input type="checkbox"/>苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。</p> <p><input type="checkbox"/>苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。</p>	a
【コメント】		
苦情解決の仕組みはあり意見箱を設置しているが、職員との信頼関係があるため口頭で職員に要望してくることがほとんどである。問題が小さいうちに担当者や責任者が迅速に解決するよう取り組んでいる。第三者委員会を配し苦情相談の体制を整えている。		
②	<p>35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。</p>	a
【コメント】		
子どもたちの意見・要望は職員に直接話すことが多く、自由に話せる環境を整備し、自分の意見が守られていることを理解している。		

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

子どもからの相談や意見等には迅速対応し全職員が共有している。さらに外部委員からの意見等も参考に問題解決に取り組んでいる。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

リスクマネジメント事例はパソコンに入力して全職員に周知し、類似の事案が起こらないよう対策し予防に取り組んでいる。毎日施設内外の見回り行い、安全確認・事故防止に努めている。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。		

【コメント】

感染予防については、施設長を中心に担当者を決め万全の体制と整備をしている。新型コロナウイルス感染症の流行により隔離室の確保や応援体制を整え安全確保に取り組んでいる。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	

【コメント】

火事・地震等あらゆる災害を想定して毎月避難訓練を実施し、安否確認についてはユニット毎に実施している。災害時は地域の避難所としているため、水・食料等十分に備蓄し、有事に備えている。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	

【コメント】

養育・支援の標準的な実施方法は、要覧・就業規則・管理規程に簡潔に記載し、職員への周知は代表者会議で取り上げ担当者間でも話し合っている。自立支援計画の内容は時期を定め調整し実行している。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

【コメント】

個別の自立支援計画は担当者が作成し、主任、事務長、施設長が確認している。標準的な実施方法の検証・見直しは、今後、法改正等の機会を捉え職員や子どもの意見や提案を検討し、職員の養育・支援内容の差異を無くし、子どもの個性に合わせたより良い対応ができる体制を整備していくことが望まれる。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	

【コメント】

ユニットリーダーが自立支援計画策定の責任者となり、入所に際し児童相談所からのこれまでの経緯、家庭状況、心理的背景などの情報に基づいて、子どもの性格・虐待の経緯などを把握している。子どもの成長と家庭状況の変化に合わせて多職種が関わり、見直している。支援困難ケースに留意して複数で対応し、チームを作り役割分担して関わっている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【コメント】

時期を定め担当者が自立支援計画を見直し、施設長もチェックしている。子どもの意向把握と同意は、目標について聞き取り話し合っ確認している。ユニットの中だけでなく心理職や家庭支援専門員からの意見を聞き、養育・支援の質の向上に努めている。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【コメント】

職員のパソコンを内部ネットワーク化し、専門のソフトウェアを使い統一した様式で把握し記録している。業務終了時に入力することとし、言葉の表現や主観を入れずに書く等個々の職員に指導し、その積み重ねにより差異のない記録となっている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	

【コメント】

個人情報保護規程を定め、個人情報の不適切な利用や漏洩が起こらないよう厳重に管理している。仕事は家に持ち帰らない、個人のスマートフォンで子どもを撮影しない、SNS等で職員間や子どもとのやり取りをしないこととし、管理体制を整えている。

内容評価基準（24項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】</p> <p>人権擁護委員会が先頭に立ち推進し「人権擁護のチェックリスト」で自己評価している。「子どもの権利ノート」で年度当初に毎年周知しており、子どもや職員から意見を出しやすいように取り組み、「安全委員会」が聞き取りを行って子どもや職員の把握を行い、外部委員からのアドバイスを受け権利侵害の防止と早期発見に努めている。</p>	
(2) 権利について理解を促す取組	
<p>① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。</p> <p><input type="checkbox"/>年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】</p> <p>「子どもの権利ノート」を活用し年齢層・男女別毎にわかりやすく工夫し説明している。保育士や指導員等が生活のなかでの相手を考えた言葉づかいについて指導しており、年下や障がいのある子どもの面倒を年上の子どもが見るなど互いに理解し思いやりの心で接している。</p>	
(3) 生き立ちを振り返る取組	
<p>① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生き立ちの整理に繋がっている。</p>	<p>a</p>
<p>【コメント】</p> <p>年齢や発達状況・環境等により一人ひとり様々なケースがあるが、本人や保護者の意見を聞いて、児童相談所と相談・連携し全職員が同じ目線に対応し、生き立ちを振り返る取り組みを行っている。一人ひとりのアルバムを持っており成長記録を管理している。</p>	

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	<p>A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。</p>	a
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

「被措置児童等虐待防止マニュアル」を全職員で研修を行い再確認し、不適切なかかわりの防止に努めている。話しやすい環境を作り、日頃の会話から子どもの訴えのサインを見逃さないよう留意し、言葉かけを都度行い防止・早期発見に取り組んでいる。

(5) 支援の継続性とアフターケア

①	<p>A5 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。</p>	a
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

入所時には情報を収集し子どもの気持ちを汲み取り安心して暮せるよう配慮している。家庭復帰する場合は児童相談所と相談しながら、外出・外泊等を長期に行って子どもが安定した生活を送れるよう支援し、電話や家庭訪問により不安の解消に努めている。

②	<p>A6 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生時の連絡などにも対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。</p>	a
---	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

「自立ハンドブック」を利用し、就職・進学する子どもたちには自立支援員を担当にしてアフターケアを行い、不安が無いように退所間近の入所者には関係機関と連携・協力して送り出す支援を計画的に行っている。自炊の練習や通帳の管理、役所等への届け出等の指導も行っている。

## A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
<p>① A7 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>職員は子どもとの対話や学校との繋がりを重視し、学校長や担任から学校での生活の情報提供があり信頼関係を築いている。自立支援計画に基づいた目標に向かい、職員・ユニットで共有し、子どもの理解に繋げている。</p>	
<p>② A8 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。</p> <p><input type="checkbox"/>生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/>夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>子どもの生活時間帯は、年齢により食事時間、入浴等に配慮している。個室も多いので夜間も安心できるよう職員と一緒に過ごしたり、自由時間に話を聞きコミュニケーションをとり不安にならないような配慮や職員の配置を工夫している。</p>	
<p>③ A9 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うよう見守ったり、働きかけたりしている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>つまづきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>職員は子どもとの会話を大切にして24時間寄り添っている。子ども自身が職員といつでも相談できる関係にあり、小遣いの使い道も自主的に考えてもらい職員は見守っている。職員は横の連携を図りながら、いつもそばにいて子どもの心の安定に繋げている。</p>	

④	A10 発達の状態に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状態、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	

【コメント】

発達障害の幼児にはプログラムがあり、児童には福祉サポートセンターの学習支援など、それぞれの年齢に合わせた学びの場を設けている。子どもは体育館やプレールームで自由に遊び楽しんでいる。

⑤	A11 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 発達の状態に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 発達の状態に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくように支援している。	

【コメント】

食事のマナー、衣類の洗濯や掃除などの基本的な生活習慣は子どもの発達に応じて、身に付くように子ども同士で教え合い職員も見守っている。退所後の自立に向けて社会人として必要な知識を学び職員も支援している。

(2) 食生活

①	A12 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですぐに食事できるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	

【コメント】

ユニット毎に職員とともに配膳や片付けを協力して行い、中学生が幼児の手助けをしたり和やかな食事風景となっている。高校生の弁当は栄養や彩りも考えたメニューとなっている。誕生日には食べたい食事の希望を取るなど一人ひとりを大事にしている。

(3) 衣生活

①	<p>A13 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。</p> <p><input type="checkbox"/>汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。</p> <p><input type="checkbox"/>気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。</p> <p><input type="checkbox"/>洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。</p>	a
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

被服費として一人ひとり予算があり、子どもと一緒に職員が買い物に行き季節に合った衣服を購入している。洗濯は職員が手伝い、整理整頓は子どもたちが出来るよう支援している。

(4) 住生活

①	<p>A14 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/>身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。</p> <p><input type="checkbox"/>食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損個所については必要な修繕を迅速に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。</p>	a
---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

中学生からは個室になりプライバシーに配慮している。掃除は中学生以上は各自で行うよう職員が声がけし指導している。寝具類等はベッドメイキングを毎日行い、清潔の維持と安心できる居場所づくりに努めている。

(5) 健康と安全

①	<p>A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。</p>	a
---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

保健衛生の関係マニュアルと新たに「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を整備し対策を講じ感染防止に努めている。年2回健康診断を実施し、嘱託医が小児科医師であるため日頃の健康管理に十分対応し、また精神科医・学校医とも連携している。

(6) 性に関する教育

①	A16 子どもの年齢・発達状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢・発達状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】

幼児には教材として絵本を用い、小学生には研究者の指導の下、県の児童養護施設協議会で作成した小学生すべてのカリキュラムが含まれた紙芝居を活用している。職員会議で使い方について研修し、子どもの年齢・発達に応じて伝えている。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A17 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけて出そうと努力している。	

【コメント】

「暴力対策マニュアル」などを定め、職員は研修の他、先輩職員を見て適切な対応を学んでいる。子どもの情緒が不安定になり暴れてしまうことがあるが、落ち着いてから悩んでいることをじっくり聞くようにしている。問題があれば関係機関と連携をとれるように体制を整えている。

②	A18 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合については、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	
	<input type="checkbox"/> 子ども間の性的加害・被害を把握し適切に対応している。	

【コメント】

月1回聞き取り調査を行っており、暴力や嫌なことをされていないか、見聞きしたか等の項目を確認し、「安全委員会」で幅広い視点から協議している。職員は常時、子どもの居所・行動を見回り付き添いを行い把握し、職員同士日頃からよく話し合い施設全体で取り組んでいる。

(8) 心理的ケア

①	A19 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	

【コメント】

心理的ケアが必要な子どもに対して、児童相談所と相談しながら遊戯療法などの心理支援を行っている。心理職が個別のカウンセリングを行い、職員会議に出席して、専門的な立場からアドバイスをしている。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A20 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	

【コメント】

オンラインでの学習環境を整えるため、Wi-Fiの設備を設置している。予算捻出、確保に努めることにより、定期的に学習指導者が施設に来訪し、子どもの学力に合わせ個別の指導をしている。下校後カバンを置いて学習を始め宿題を終わらせ、生活の中に学習を定着させ安定した生活になるよう環境を整えている。

②	A21 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	

【コメント】

高校進学・卒業後の進路について、本人の希望に出来るだけ沿った選択になるよう、学校に相談したり保護者の希望との調整等を行っている。給付型の奨学金が増えたことで、進学する子どもが増えている。高校を中退し退所となった例もあり、進路の決定が上手くいかなかった場合の支援について検討することが望まれる。

③	<p>A22 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。</p> <p><input type="checkbox"/>実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。</p> <p><input type="checkbox"/>アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。</p>	b
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

学校の授業の一環で行われているインターンシップや会社見学に参加している。助成金を活用し、高校卒業時や進学時に運転免許資格が取得できるようにしている。生活スキルを身につけるため、高校卒業の前には、職員のサポートを受けながら自炊の練習をしている。金銭管理が心配だとの声に答え、自立支援員を中心に指導し自立に向けて支援している。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	<p>A23 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。</p> <p><input type="checkbox"/>家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかかわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。</p>	a
---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

家族には年1回、所属ユニットや担当者、施設の行事計画等を知らせている。家庭支援専門相談員が児童相談所との窓口になり、家庭とのやり取りを一本化して行っている。児童相談所のプログラムで、今できることを考えながら目標に向かって支援している。家族との信頼関係づくりは地道な対応と考え、人と人との関係づくりとして丁寧に取り組んでいる。

(11) 親子関係の再構築支援

①	<p>A24 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。</p> <p><input type="checkbox"/>面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。</p>	a
---	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

【コメント】

家庭の状況を把握している児童相談所と日常的にやり取りしている。親に子どもの成長を感じてもらうには、施設での交流が効果的であり、親としての感情の動きがその後の支えにもなると考えており、面会の頻度が増えるよう積極的に取り組んでいる。